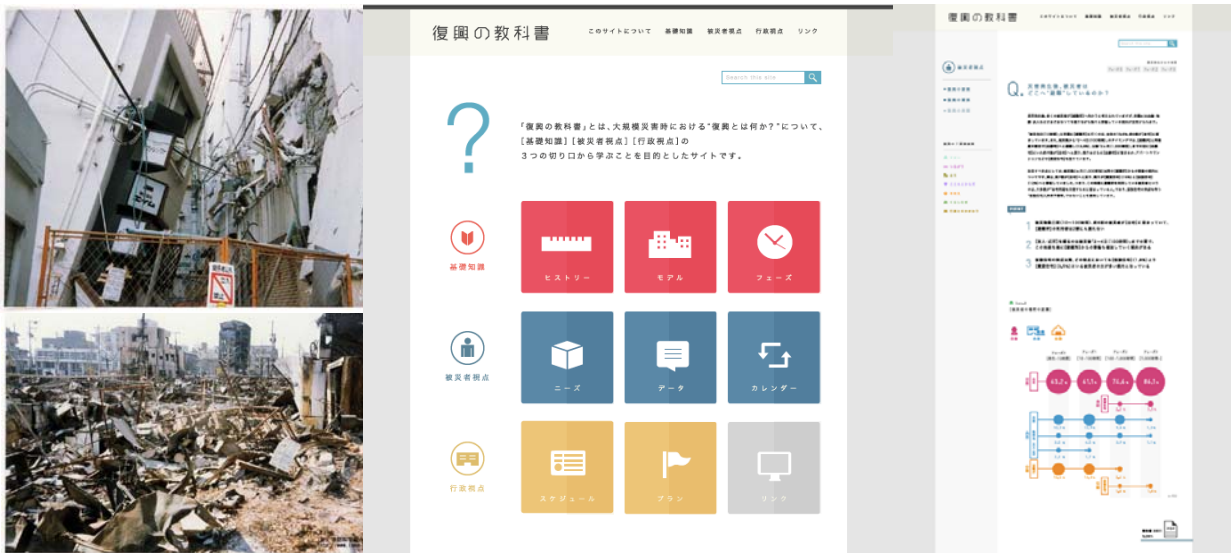


復興とは何か？ について学ぶ日本初のWEBサイト

『復興の教科書 (<http://fukko.org>)』 がオープン！

京都大学防災研究所巨大災害研究センターでは、文部科学省からの委託研究『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト』サブプロジェクト③（通称『都市減災サブプロジェクト*』）において、災害対応能力・防災リテラシー向上のため災害情報提供とトレーニング手法についての研究に取り組んでいます。このたび、「事前復興計画」を立てることに役立てていただくために、日本で初めて大規模災害時における“復興とは何か？”についてを体系的に学ぶサイト『復興の教科書』を2014年2月28日に開設いたします。



東日本大震災から3年を迎える中、震災当初から被災者も支援者も“復興”を掲げてきましたが、その定義を共有することなく、あらゆる活動が“復興”の名のもとに行われているのが現状です。そこで本サイトでは、「震災の発生から復興の完成まで」を初めて科学的に検証した阪神・淡路大震災において、「被災者視点からの復興プロセス」を探ることを目的に行われた社会調査『兵庫県生活復興調査**』の知見をもとに、復興についてさまざまな角度から学べるように編集されています。首都直下型地震や南海トラフ地震などが予測されていますが、自治体やNPO職員、ボランティアや市民団体などの災害支援に関わる人たちには、ぜひこれらの知識や知見を学び、「事前復興計画」を立てることに役立てていただければ幸いです。

* 『都市減災サブプロジェクト(<http://www.drs.dpri.kyoto-u.ac.jp/ur/>)』とは、災害対応能力・防災リテラシー向上のため災害情報提供とトレーニング手法について提案する文部科学省のプロジェクトです。

** 『兵庫県生活復興調査』とは、“復興とは何か？”を最初の5年間でワークショップなどで明らかにし、次の5年間で無作為抽出の標本調査の実施を通して継続的に定量的に検証した社会調査です。現在の暮らしに対する満足度を「生活復興感」とし、その高低にどんな要因が影響しているかを分析。生活再建に必要な要素の因果関係を調べ、生活復興過程のモデル化を行い、それ以降の国内外の大規模災害で使用されています。

【WEBサイトの特徴】

▼大規模災害時における「復興」のあり方について、さまざまな角度から考えていくための知見を掲載しています。具体的には、【基礎知識】【被災者視点】【行政視点】の3つの切り口に編集し、さらにそれぞれをサブカテゴリーで分類しています。

【基礎知識】… 復興を考える上でまず初めに学ぶ基礎的な知識

[ヒストリー] … 自然災害における「復興概念」の歴史的背景の紹介
[モデル] … 「復興プロセス」を構造化した向けた“生活再建モデル”
[フェーズ] … 時間経過による「被災地」と「被災者」の変化

【被災者視点】… 「被災者」側から見た復興について

[ニーズ] … 被災者が求める復興の7要素
[データ] … 復興7要素に関連する20の震災データ
[カレンダー] … 被災者の実感値から見る復興カレンダー

【行政視点】… 「行政」側から見た復興について

[プラン] … 震災から5年間で神戸市が実際に行った復興施策の索引
[スケジュール] … 復興施策を時系列で一覧化した復興計画表

【リンク】… 『生活復興調査報告書』、関連論文一覧ほか

▼『兵庫県生活復興調査』の知見をより詳しく知りたい人向けに、それぞれのページごとに報告書や論文該当ページへと直接リンクが貼られています。

▼『兵庫県生活復興調査』の調査企画・実施をした『生活復興に関する質問紙調査データセット協議会』のメンバーは、下記の通りです。

林 春男 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授
立木茂雄 同志社大学 社会学部 教授
田村圭子 新潟大学 危機管理室 教授
木村玲欧 兵庫県立大学 環境人間学部 大学院環境人間学研究科 准教授

企画・編集：ASOBOT (<http://www.asobot.co.jp/>)

本件に関するお問い合わせ先

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 連絡窓口：清水

TEL：0774-38-4273 FAX：0774-31-8294

MAIL：jimu@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp